

マレーシア日本国際工科院(MJIIT)におけるgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年02月28日 ~2023年03月09日	マレーシア	マレーシア・日本国際工科院	・生命科学科 ・学部2年生、学部3年生	(芝浦工業大学) 学生17名、学生バイト2名、 教員2名 (マレーシア・日本国際工科院) 学生10名、教員5名	アズハム スルカルナイン (生命科学科)、廣田 佳久 (生命科学科)



図1 マレーシア工科大学でのgPBL

本年度のプログラムのテーマは、マレーシアの川の水質の監視と浄水方法を評価でした。このプログラムには、芝浦工業大学生命科学科の学生17名と、マレーシア工科大学(MJIIT)の学生8名が参加しました。川の水質を監視するため、学生たちは近くのブヌス川で野外調査を行いました。水サンプルを採取し、現場でいくつかの項目の測定を行いました。その後、水サンプルはさらに研究所で分析され、参加者は実験室活動を体験することができました。一方、別のグループの参加者は、活性炭材料を用いた浄水に関する研究を行いました。人工染料が水汚染物質として使用され、浄水器の性能を最適化しようと試みました。週末には、クアラルンプールの多くの観光名所を訪れました。その中には、象徴的なペトロナス ツインタワーとバトゥ洞窟が含まれています。このプログラムは、参加者にとって、環境問題の解決に取り組みながら、異なる文化や言語を持つ国際的な人々と協働する貴重な経験となりました。



図2 水質調査フィールドワーク



図3 研究室での水質解析



図4 週末の工場訪問